

「新たな資源ごみ」分別収集の試行について（案）

～「雑がみ」・「その他色びん（油付きびん・化粧品びんを含む）」の分別収集の試行～

「新たな資源ごみ」の分別収集の試行について

一般ごみには、リサイクル可能な「雑がみ」「その他色びん（油付きびん、化粧品の色びん）」が含まれており、第2次亀山市総合計画（基本施策：低炭素・循環型社会の構築）を推進するため、現亀山市一般廃棄物処理基本計画に基づき「雑がみ」と「その他色びん」の分別収集を試行実施するものです。

「雑がみ」の分別収集の試行について

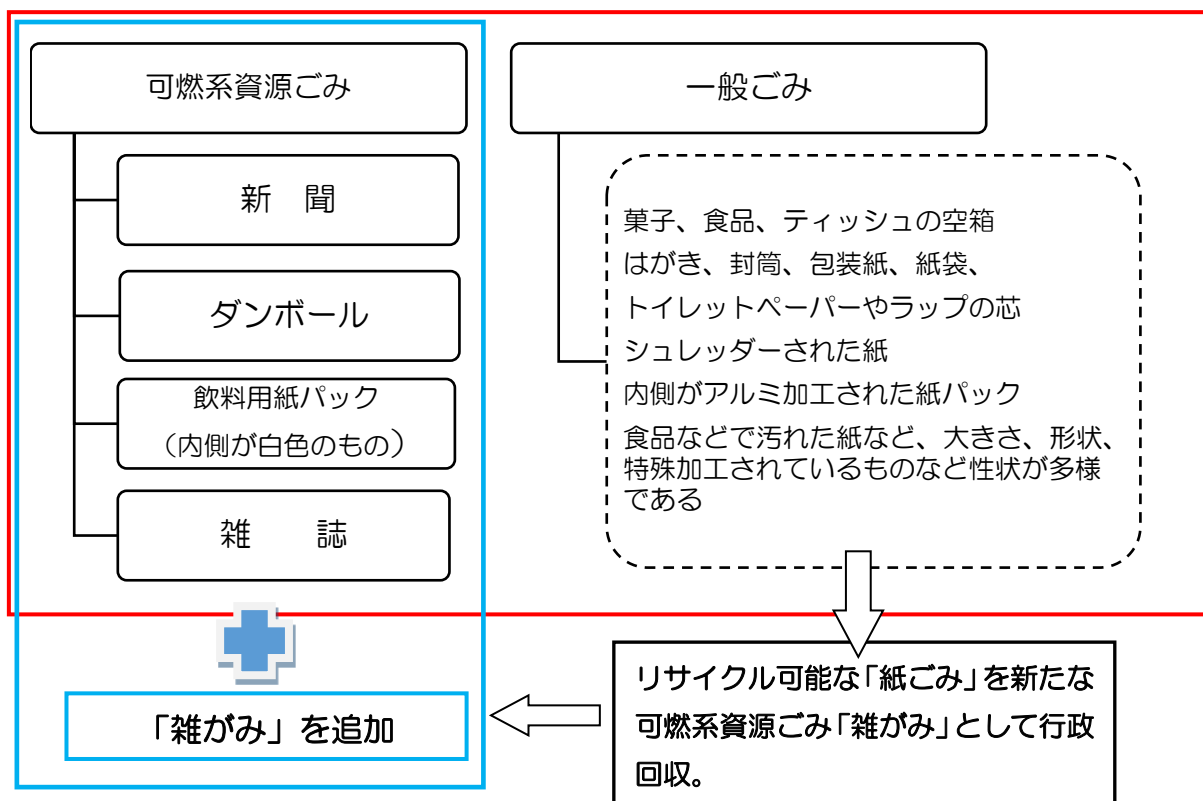
「雑がみ」とは

「雑がみ」とは、一般ごみに含まれる紙類で、新聞・雑誌・ダンボール・飲料用紙パック（500mlまたは1000mlのもので内側が白色のもの。）を除くリサイクル可能な紙類を「雑がみ」と呼び、食品などの空き箱、紙製の袋、包装紙、はがき、封筒、コピー用紙など、分かり易い紙類を「雑がみ」の範囲とします。

一般ごみに含まれる紙類の種類・性状は多種多様であることから、排出時点で判断に迷ったら「一般ごみ」として排出します。

収集日

可燃系資源ごみ収集日 A地区 第1・第3 金曜日
 B地区 第2・第4 月曜日



「雑がみ」の排出方法

A・Bいずれの方法でも排出可能とします。

A 「雑がみ」のみをまとめて紐で十文字に縛って排出する。

B 「雑がみ」のみをまとめて紙袋にいれ、十文字紐で縛って排出する。

※ちいさな「雑がみ」は飛散防止対策を行ったうえで排出する。

古封筒、菓子などの紙箱に入れ、「雑がみ」の間に挟み紐で縛って排出するか、大き目の紙袋に入れて紐で縛って排出する。

個人情報の記載のあるものの排出については、排出者の意思を尊重するものとします。

- 1) 該当部分をマジックで塗り潰し、「可燃系資源ごみ」で排出する。
- 2) 該当部分を切り取り、該当部分は「一般ごみ」、他の部分は「可燃系資源ごみ」で排出する。
- 3) 全てを「一般ごみ」で排出する。

「その他色びん」の分別収集の試行について

「その他色びん」とは

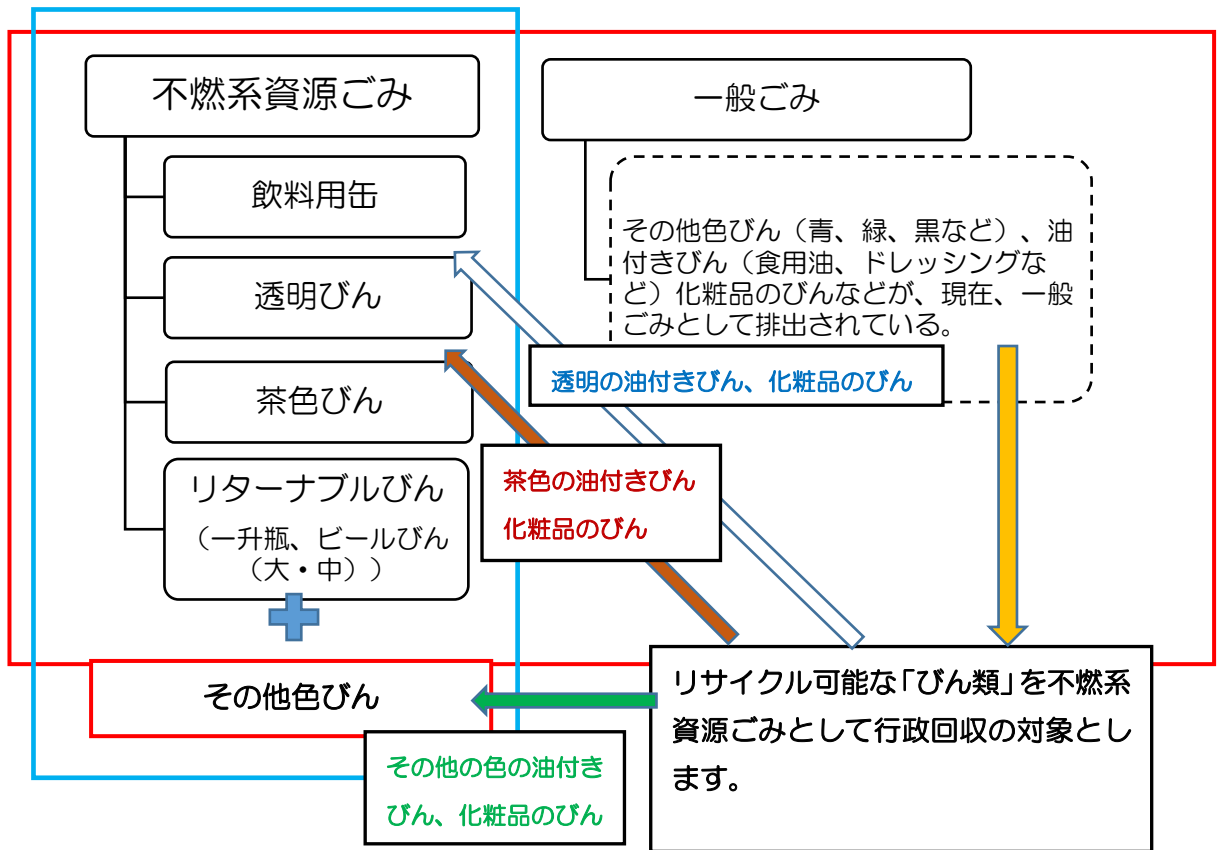
一般ごみに含まれているびん類で、無色透明、茶色以外の色付きびんを「その他色びん」と呼びます。

従来から、一般ごみと分別してきた「油付きびん（食用油のびんやドレッシングなど油を使用した調味料のびんなど）」と「化粧品のびん」につきましても、洗浄能力向上、「化粧品のびんの組成」がリサイクル可能な素材へ変更されていることから「油付きびん」「化粧品のびん」についても、不燃系資源ごみとして分別収集を試行実施します。

なお、不燃系資源ごみとなるびん類については、食品、飲料、薬、化粧品など体内に取り入れたり、触れたりしても人体に影響のないものとし、びんの色ごとに分別することとします。

収集日

不燃系資源ごみ収集日	A 地区	第 1・第 3	火曜日
	B 地区	第 2、第 4	木曜日



「不燃系資源ごみ（びん類）」の排出方法

「その他色びん」「無色透明びん」「茶色びん」に分けて排出することとします。

※はっきりとした無色透明と茶色以外の中間色は「その他色びん」として排出します。
中身を使い切り、水で洗います。

びん類のふた（キャップ）は取り除きます。

油付きびん、化粧品のびんも中身を使い切り（取り除き）、ふた（キャップ）を取り除き、水洗いし排出します。（現在の「無色透明びん」「茶色びん」の排出方法と同じ）

「新たな資源ごみ」の分別収集で期待される効果

- 溶融処理してきたリサイクル可能な廃棄物をリサイクルすることで、さらなるリサイクル意識の向上やごみ減量意識といったごみ処理に対する意識の向上が期待されます。

- 溶融処理されるごみが減ることで、ごみ処理費用の軽減が期待されます。

- ごみ処理に必要な燃料等の使用量が軽減し、二酸化炭素排出量の削減に寄与することが期待されます。

「新たな資源ごみ」の分別収集スケジュール（案）

- 令和元年11月～12月 自治会連合会役員会・支部長会での説明
- 令和2年 3月 市議会への報告
- 令和2年 4月～ 9月 地元説明会の開催、市広報・市HPへの掲載、啓発チラシの配布などによる周知
- 令和2年10月 1日 「新たな資源ごみ」分別収集の試行実施を開始
- 令和4年 4月 1日 「新たな資源ごみ」分別収集の本格実施を開始
（試行期間は1年6月を予定しています。）